

③7 国営ひたち海浜公園 みはらしの丘 ～建設残土から地域の誇りとなる大規模花修景へ～

受賞機関 国土交通省 関東地方整備局 国営常陸海浜公園事務所

キーワード 建設残土の有効活用、日本の美しい場所31選、大規模花修景

全建賞審査委員会の評価ポイント

建設残土を活用した大規模公園整備。米軍水戸対地射爆撃場跡地において、建設残土を用いて雄大かつ良好な景観を生み出すとともに、その斜面を用いて、当時目新しかったネモフィラやコキア等大規模な花修景による絶景を生み出し、国内・インバウンド観光促進にも寄与するなど、地域の新しい誇りとなるインフラとなった点が評価された。

1. はじめに

国営ひたち海浜公園の「みはらしの丘」は、昭和48年に米軍から返還された水戸対地射爆撃場跡地の平和利用として、周辺の公共事業で発生した建設残土を用い、日本庭園的手法により造り上げた、空と太平洋を背景とした広大な花畑の絶景が楽しめる、当公園を代表するエリアであり、多くのお客様にご利用頂いている。

2. 事業の概要

「みはらしの丘」は、射爆撃訓練の主要標的地であったため、返還時には多量の不発弾等が埋没していた。そのため、最初に危険物の探索撤去を徹底した。続いて、水戸市内の隧道工事等で発生した建設残土を用い、麓からの雄大な景観や丘へ登る期待感の醸成を意図し、高中低の3峰が連続する形に築山した。その斜面約4.2haには、植栽に適した土壌改良を加え、春には青い花のネモフィラ、秋には紅葉するコキア等、当時目新しかった園芸植物を採用することで、世界中のどこにもない風景を創出した。

その後も、来園者増加やコロナ禍等、密を回避し、誰もが安全安心かつ快適に過ごせるように、複数動線の確保や広幅員と緩傾斜の園路整備など、バリアフリー等にも配慮し、車椅子やベビーカー利用の方にもゆとりとご利用頂いている。



建設残土搬入が進み、その姿が現れた丘（平成13年）

3. 事業の成果

本事業により、国内外の多様な観光客が多く訪れ魅了される地域の基幹観光施設が生まれ、観光振興やインバウンド需要拡大を牽引している。建設残土約100万㎡を有効活用することで造成経費は削減され、建設リサイクルの成功例となった。立地するひたちなか市の最高地点となった、標高56mの「第3頂上」からは、太平洋や関東平野、遙か富士山まで見渡せる。ユニバーサルデザイン等への積極的な取組もあり、例年高い利用者満足度を頂いている。公園の年間入園者数は「みはらしの丘」全面供用開始時（平成24年度）の124万人から、わずか6年間で230万人まで急増し、平成27年には「いばらきイメージアップ大賞」を受賞、CNNの「日本の美しい場所31選」に選定される等、国内外から高い認知度を得、茨城県の世論調査では平成28年から「知人に自慢したいもの」1位に選ばれ続ける等、高い評価を頂いている。



ネモフィラ満開の「みはらしの丘」

4. おわりに

「みはらしの丘」の管理には、植栽基盤である表土の風化流出、下層土壌の劣化、排水不良、異常な温暖化や豪雨の激甚・頻発化等の問題が絶えず、それらに対応し続けていかないと、植物の生育不良や、雑草負け等が発生し、景観を維持することができなくなる。

引き続き、より多くのお客様にご利用頂けるよう、利用者ニーズや、環境の変化などに対応し、大規模花修景の品質向上に努め、賑わいと、心ときめく空間創出を続けて行きたい。

賛助会員 （一財）公園財団